

センター 紹介

地域連携センターの 取り組み

県内の医療機関の66%を占める、
連携登録医数455名(2015.3現在)



地域連携センター
統括部長

小嶋裕一郎

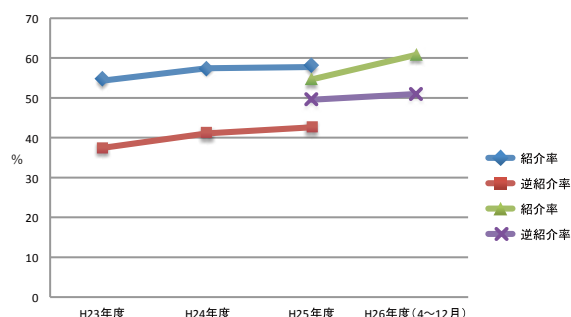
当院は山梨県の基幹病院として、救急医療を含めた急性期治療、専門性の高い高度医療を担当していく使命があります。これらを有効に機能させるために、地域の医療機関に患者さんを逆紹介して回復期の治療をお願いしております。

当センターではこの医療の分業化を進めるために、これまでに紹介率、逆紹介率を高めることを進めて参りました。紹介率は、図に示すように年々上昇し、今年度(12月まで)は60.8%となっております。一方逆紹介率も今年度51%になり、今後さらなる上昇をめざしていく所存です。また、より密接な連携を図るためには連携登録医の先生方との情報交換が重要であり、連携登録医の訪問、新規に連携登録医になって頂くことをお願いし、現在連携登録医は455名と県内の医療機関の66%を占めております。

また、地域の先生と連携を密にはかっていくために、日頃より丁寧な返書を作成し、返書率100%を目指しております。さらに昨年9月からは、救急患者の地域連携を推進する目的で、32病院と救急患者地域連携加算の締結をし、運用も進めております。

当院ではさらに急性期医療、高度医療のレベルアップを目指し、各医師、職員が自覚し邁進していく所存ですので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご意見がありましたら地域医療センターにお気軽にご連絡頂けましたら、幸甚に存じます。

紹介率、逆紹介率の推移



H26年度より医療法改定のため紹介率、逆紹介率の計算式が変更になりました。H25年度は、以前の計算式と現在のものとで表記しています。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111/FAX.(直通) 055-253-2903

CHECK 1



内視鏡センター科長

細田 健司

Introduction of an endoscope center

ステントでの内瘻化で 充実した日常生活を

当センターでは消化器内科医8名による消化器内視鏡及び呼吸器内科医5名による気管支内視鏡を行っています。消化器内視鏡に関しては上下部内視鏡、胆膵内視鏡に加えダブルバルーン小腸内視鏡、カプセル内視鏡を導入し従来は困難であった小腸の病変の検索も可能になりました。

上下部内視鏡ではスクリーニングだけではなくポリープ、癌などの腫瘍に対する内視鏡的治療（粘膜切除術、粘膜下層剥離術）、出血に対する止血術、癌などによる通過障害を改善するためのステント留置術などを積極的に行っています。特に早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術では、全国でもトップクラスの短さである入院期間4日間のパスを採用し当院のモットーである「早くきれいに治す」を心がけています。消化管出血に対しては必要時消化器内科医が365日24時間いつでも対応できる体制を敷いています。最近には特に進行大腸癌による腸閉塞に対する大腸ステントも積極的に留置しています。従来はリスクの高い緊急手術をせざるを得なかった患者さんでも、ステントを挿入し一時的に通過障害を改善することにより安全な待機的手術が可能になりました。

胆膵内視鏡では総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開術（乳頭拡張術）や癌による閉塞性黄疸に対するステント挿入術を積極的に行っています。従来ならドレナージチューブを腹部から出したままだったのが、ステントでの内瘻化により通常通りの生活を送ることができるためQOLの改善につながっています。

気管支鏡では昨年4月よりEBUS（超音波気管支内視鏡）を導入し34例に経気管支的縦隔リンパ節、腫瘍生検を行っています。これによりCTなどの画像だけでは診断が困難であった腫瘍性病変やサルコイドーシスなどの確定診断に役立てています。



Topics

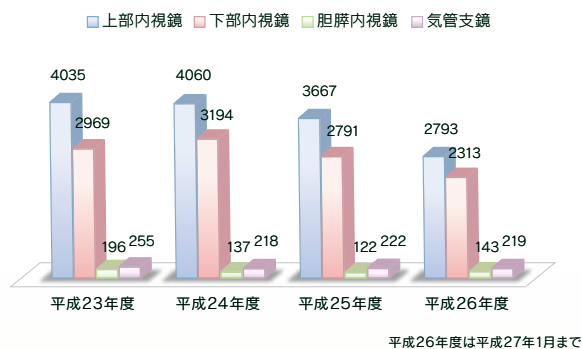
内視鏡センター の紹介

全国でもトップクラス！
入院期間最短4日間で
「早くきれいに治す」

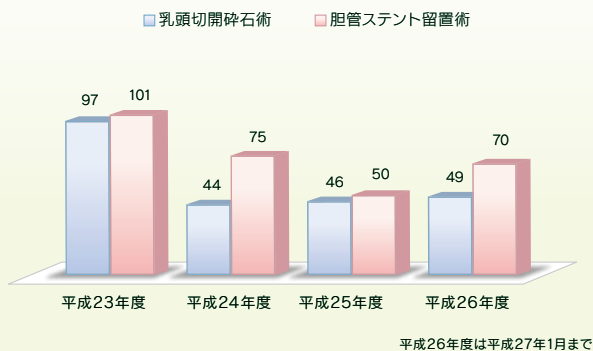
CHECK 2

内視鏡治療実施件数の推移

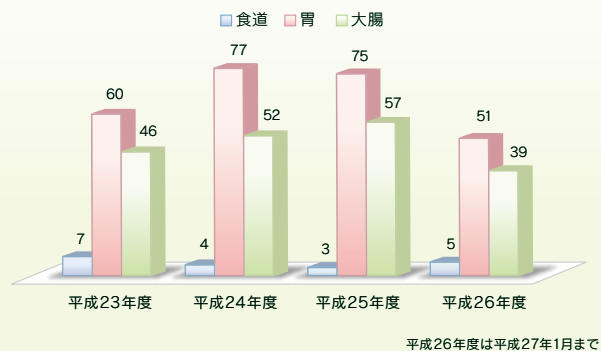
内視鏡実施件数



胆膵内視鏡実施件数



内視鏡的粘膜下層剥離術件数



第3回 地域連携研修会を開催しました

H26 年度 第3回

2014.11.21

平成26年11月21日(金)、
当院多目的ホールにおいて、
今年度第3回目の地域連携研修会を
開催しました。

脳神経外科長中野真医師が、「脳卒中の医療連携について～
地域連携パスを用いて～」と題して講演しました。院外より30
名の医師、看護師、相談員等が、院内からは19名の職員が出席
しました。

脳卒中の基礎知識から地域連携パスの流れ、そこから得られ
たデータベース分析への今後の期待などについての講演でした。

御参加いただいた方々からは『連携パスの流れなどわかり
やすかった』『データベース解析に期待が持てる』などのご意
見をいただきました。

また、連携へのご意見として一方通行にならず相互に患者を
診てほしい。何らかの際には主治医と直接連絡をとりたい等の
ご意見をいただきました。



研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧ください。
<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

次回研修会

▶ H27 年度 第1回

日時: 4月23日(木) / 19:30～20:30

場所: 山梨県立中央病院 2F 多目的ホール
甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名: 『1. 肺癌外来治療の最前線
2. 気胸ホットライン(24時間)
開設のご案内』

講師: 山梨県立中央病院 科長 後藤 太一郎 医師
呼吸器外科

▶ H27 年度 第2回

日時: 5月29日(金) / 19:30～20:30

場所: 山梨県立中央病院 2F 多目的ホール
甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

座 長: 山梨県立中央病院 リウマチ・膠原病内科
医長 神崎 健司 医師

題名: 『関節リュウマチの薬物治療
～DMARDsからバイオ製剤まで～』

講師: 帝京平成大学 健康メディカル学部 教授
JCHO湯河原病院 リウマチ科 客員部長
科長 中村 一郎 医師

詳細については後日郵送します

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、 かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらって
ください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)